

# 碁老連 ニュース

第37号

## 碁老連の目的

ボケ防止のために、老人団体同好者の誰もが  
「碁老連」に加入することが出来るように、機会と場所を  
確保するために相談会、開催を通じて親睦  
を図り、更には、より良き福祉社会の建設に貢献  
することを意願する。

発行日	平成5年2月8日
発行所	八王子の碁老連
〒	八王子市初保町1434-86
TEL	(0426) 66-3754
施行人	熊崎正一

## 第3回ボケ防止のための棋老連碁残川大会

開催日時	平成5年2月7日前9時
開催会場	総合福祉センター（東残川町551-1、電 67-1331）
主 催	八王子寿園碁同好会（会長 保屋野正清）
共 催	八王子市、八王子市教委員会、日本棋院、読売新聞八王子支局
後 援	残川事務所と館業務所管内及びめじろ台、柏田町、狹間町、立里町、元八王子町3丁目に在住の方60才以上で10級以上。
参 加 費	600円（弁当、パック菓子含む）
競技方法	例年通り5クラス別に行い、各クラス共3位までの入賞者に賞状を授与。
特 典	成績により下記大会に推薦する。 (1) 7月4日開催の八王子大会 (2) 9月開催のNTT教老連碁大会
競技成績	次の通り

Cクラス（初段・準初段）成績表

予選

優 勝	Cクラス（初段・準初段）成績表												予選						
	1	3	1	1	1	2	2	2	1	0	3	2	2	0	計				
決 勝	○	×	×	×	○	○	×	○	○	×	○	×	○	×	勝敗				
不 福	西	中	新	堂	浦	吉	森	佐	大	串	綾	ヶ	尾	一	回戦				
義	庭	山	島	井	谷	見	原	藤	野	田	尾	ヶ	ン	者	対局者				
大	×	○	×	×	×	○	○	×	○	○	○	×	○	×	勝敗				
綠	吉	萩	常	福	丹	中	西	堂	浦	林	佐	所	井	所	回戦				
野	尾	開	原	庭	島	山	谷	見	大	山	藤	井	升	者	対局者				
×	○	○	×	○	○	×	○	×	○	○	○	×	×	×	勝敗				
吉	堂	練	浦	吉	井	折	佐	藤	大	山	浦	井	井	井	回戦				
林	谷	尾	井	見	浦	澤	吉	庭	野	原	浦	山	井	井	対局者				
用	尾	井	澤	庭	浦	吉	井	藤	東	藤	田	上	海	井	者				
20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	二	11.			
林	吉	練	堂	浦	吉	中	中	折	福	佐	松	高	津	大	山	西	丹	根	氏
吉	用	尾	井	見	浦	澤	吉	井	庭	藤	原	原	浦	田	野	崎	山	山	近
哲	孝	善	萩	吉	吉	吉	吉	吉	吉	桂	徳	東	安	徳	威	東	安	吉	名
夫	文	明	一	三	青	吉	青	吉	修	次	精	行	十	二	夫	朝	零	史	者
義	彦	孝	孝	彦	彦	彦	彦	彦	豊	修	次	精	行	十	二	夫	朝	零	者
安	二	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	者
彦	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	者
二	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	者
初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	者

(1)

Aクラス(4歳以上)成績表

予選

優勝

決勝戦

金田

三位決定戦

梅田

梅田	昭二郎

梅田	昭二郎

梅田

金田

決勝戦

優勝

三位決定戦

梅田

		2 / 1		2 / 1		2 / 1		3		計		勝敗
0	0	④	X X	0	X	0	X	0	X	0	X	三回戦
東	田	不戦	梅藤	市	橋	金	対局者					
田	川	X	田	川	立	田	川	立	田	川	立	二回戦
金	田	X	保屋	梅	梅	梅	梅	梅	梅	梅	梅	一回戦
田	川	0	立	0	X	④	0	X	0	X	0	敗
0	X	0	立	0	X	④	X	0	X	0	X	参 加 者
小	梅	梅	梅	梅	梅	梅	梅	梅	梅	梅	梅	
林	梅	梅	梅	梅	梅	梅	梅	梅	梅	梅	梅	
12 / 11 / 10 / 9 / 8 / 7 / 6 / 5 / 4 / 3 / 2 / 1 / NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.
小	梅	梅	梅	梅	梅	梅	梅	梅	梅	梅	梅	梅
林	梅	梅	梅	梅	梅	梅	梅	梅	梅	梅	梅	梅
11 / 11 / 10 / 9 / 8 / 7 / 6 / 5 / 4 / 3 / 2 / 1 / NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.

Bクラス(2歳・3歳)成績表

予選

優勝

決勝戦

奥村

三位決定戦

橋場

優勝 奥村 金子

長嶋政明	橋場久	長嶋政明	金子一
長嶋政明	橋場久	長嶋政明	金子一
長嶋政明	橋場久	長嶋政明	金子一

奥村	橋場	長嶋政明	金子一
奥村	橋場	長嶋政明	金子一
奥村	橋場	長嶋政明	金子一

		3 / 1		2 / 1		3 / 1		1 / 0		2 / 1		計	
0	0	X	0	X	0	X	0	X	X	X	0	X	二回戦
長	河	奥	大橋	河	奥	大橋	河	奥	大橋	河	奥	大橋	二回戦
崎	田	村	河原	崎	田	村	崎	田	村	崎	田	村	二回戦
0	X	0	X	X	0	0	0	0	X	X	0	X	二回戦
高	崎	橋	奥	金	高	崎	橋	奥	金	崎	橋	奥	二回戦
井	田	場	村	手	井	田	場	村	手	井	田	場	二回戦
0	X	0	X	0	0	X	0	X	X	X	0	X	一回戦
嶋	奥	長	金	嶋	大	金	嶋	奥	長	金	嶋	大	金
田	村	井	嶋	嶋	河	河	田	村	井	嶋	田	嶋	一回戦
12 / 11 / 10 / 9 / 8 / 7 / 6 / 5 / 4 / 3 / 2 / 1 / NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.
嶋	嶋	嶋	嶋	嶋	嶋	嶋	嶋	嶋	嶋	嶋	嶋	嶋	嶋
田	村	井	嶋	嶋	河	河	田	村	井	嶋	田	嶋	嶋
11 / 11 / 10 / 9 / 8 / 7 / 6 / 5 / 4 / 3 / 2 / 1 / NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.	NO.

(2)

Dクラス(2級~4級)成績表

平選

勝数									
2	3	0	2	1	0	3	1	2	2
X	0	X	X	0	X	0	X	0	X
石	水	尾	戸	神	崎	川	金	福	古
九	野	崎	室	室	本	木	木	木	屋
口	口	口	口	口	口	口	口	口	口
川	石	九	室	本	木	木	木	木	屋
口	九	口	口	口	口	口	口	口	口
水	戸	室	室	室	木	木	木	木	屋
野	川	石	丸	室	木	木	木	木	古
洋	洋	芳	盛	光	木	木	木	木	屋
照	照	一	節	火	木	木	木	木	氏
3	4	3	2	2	1	1	1	1	1

優勝

決勝戦

三位決定戦

川口

川口  
九

戸室

戸室  
花水節

3 2

三位決定戦

綱

綱  
相

相

優勝

戦

雨宮

相

相

武綱戸悦富子代

5 9

5

綱戸悦富子代

5 5

5

Eクラス(5級~10級)成績表

平選

勝数									
2	0	3	0	2	2	2	1	2	2
0	X	0	X	X	0	X	X	0	X
田	武	文	木	綱	片	雨	福	村	土
中	武	屋	津	野	桐	宿	垣	不	穂
0	X	0	X	X	④	0	0	X	0
福	綱	木	田	不	田	片	雨	工	武
田	垣	洋	谷	中	相	野	宿	井	村
X	X	0	X	0	X	0	0	X	0
文	田	村	則	移	福	片	田	井	相
中	神	野	井	口	屋	垣	不	穂	穂
悦	綱	公	富	瑞	木	相	梅	田	穂
子	天	代	富	雄	克	三	正	美	名
5	8	7	9	8	11	5	7	9	10
7	9	5	5	5	7	9	7	8	8
5	8	7	9	8	11	5	7	9	10

(3)

八王子市長  
波多野重雄殿

平成5年1月29日

八王子の基を築いた老人連合  
会長 熊崎正

ボケ防止のための啓発運動推進と御協力ご要請の件

首題の件に關し、基を築では「ボケ防止のための啓発運動推進委員会」を發足させ、本年度より積極的に「ボケ防止のために基を打ちましょう」運動を実施することになります。

その対象としては、とりあえず団基爱好者が停年退職後、基を打つことを止めざるを得ないような環境の打破と、過去において止めてしまわれた数千人に及びと予測される方々に再開を促すため、我国のボケ老人の現況（別途添付オ1号、読売新聞記事の急増する痴呆性老人）と、ボケ防止のために団基の効果を証する資料（別途添付オ2号、日本経済新聞記事の右脳を刺激する団基で老化防止）を元に御説明し、ボケ防止の緊要性について御理解を求めることに致ります。

それと共に、将来的には八老連と御協力し、ボケ防止のための啓発運動を推進する所存であります。

以上に関する事情と状況について下記の通り具体的に御報告申上げます。御検討頂きまして、御協力を仰ぎたいと存じ申請致しまして、特別な御配慮を賜り御承認下さいまことに申上げます。

記

1. 基を築がボケ防止のための啓発運動を推進する理由

厚生省では、痴呆性老人対策としての施設や在宅介護体制も悪くようには軌道上乗るが苦慮しているようであり、更に政府は昨年12月痴呆老人の介護費用問題について、OECDの社会保障サミットに提案している。

このようにボケ老人問題は、国家的重要課題として登場している。今日、アルツハイマー病（痴呆症）の原因が解明出来ないで治療方法が確立されていないとの理由により、国も、都も、市も積極的に予防運動を展開していない。

然しながら、医学専門家や医科大学等では、右脳刺激による脳の活性化がボケ防止に効果があると主張されており、更に付け加えさせて顶ければ、東京医療センターの金子滿雄先生は、長年に亘り老人の趣味別痴呆状況を調査しているところだが、団巻、俳句、短歌、生け花、盆景等はボケ防止に最も効果的であると報告されており、其の上“基打ちにボケはない”とまでおっしゃられていました。

このように多数の医学専門家の主張がテレビや新聞等で発表されているにも拘らず、役所関係では予防問題を探り上げようとされていない。

又、私の記憶に残っているのは、55年当時老人会より“ボケ防止のためにゲートボールをやりました」と云う回顧を見た事が忘れています。

(4)

結論として、ボケ運動を行政機関でやって頂けないと言うことなら、老人自身で“おべきだ”の発想を基に、基老連設立の趣旨に則り、少しでも社会のために貢献出来れば幸いと存じ、同志を結集して“ボケ防止のための登発運動”を推進せんものと微力ながらも行動を開始することに致しました次第です。

## 2. 団暮爱好者が停年退職後、墓を折つを止めざるを得ないような環境と対策について

### (1). 墓を止めざるを得ないような環境

文化関係に属する趣味、娯楽の爱好者の数は、20才以上の年齢層では團暮関係が一番多いと云われておりますが、それも在職中のことであって、停年退職し老人生活に足を踏み入れた瞬間に樂しみ親こんで来た團暮を諦めねばならない状況に追いやられている方が数多くいらっしゃる。

即ち、社職中は休憩時間中に墓を折っている光景がどの会社でも見受けられたが、権力の程度によっては少級以下の方が多いようです。

これらの方達は平素地元の團墓關係者との交流がないので、停年退職後、地元の團墓部（有効者が主体）や墓会所へ行つて相手にて貰えど、老人会には團墓部がない等で、結果は止めざるを得ないと云うことになつてゐるようです。

このように墓が折らなくても止めざるを得ない方達は毎年 kako 累増している現状ですが、特に問題視されることは、墓の樂しみを諦める等の問題だけではなく、ボケ防止も放棄してしまつたと云う事にあります。

墓がボケ防止に最適と云う事を承知しているれば、このよう悲劇は生じないと思われますが、誠に残念なことです。

### (2). 墓を止めざる得ないためにするための対策

團暮セットを市の施設及び町会・団地の自治会館に設置して頂くことが唯一の対策です。

尚、團暮セットについては、容積も少しく持ち運びに便利な折墓盤を採用して頂きます。1セット約1,000円程度です。

現在使用中の足付き墓盤は、和室だけしか使用出来ない上に、持ち運びも不便で老人には不向きのようです。

### (3). 長い年月に亘り墓を止められれた方達に対する方針

“ボケ防止のために墓を折らず”との趣旨を理解させ、老人会又は町会単位にサークル結成を呼びかけてる。

但し、この方達については、墓先連としては調査のしようがないので、その実数はつかめておりませんが、墓先連の平成5年1月現在の60才以上の有効者名簿（未完成）にあたり多く有効者が570名となりますが、級位担当者は少なくとも数40人はいらっしゃるので、はないでしょ。

然し、これらの方達についての半掛りをつける事は大変むづかしいので、この際、八老連や町会及び市の御協力と新潟商社（既老新開は御了解者）の御後援を仰がなくては到底成功を挙げることは出来ません。

(△)

### 3. 団墓爱好者に対する差別待遇

市の施設や自治会館に団墓セットが設置されていない所が沢山あります。従つて、団墓爱好者は/停年退職後、これらの施設を利用することはありませんが、団墓以外の趣味(趣味)についておうけの方達は樂しく利用されています。このような差別待遇に対する、何人の老人より次のようないい御言葉を伺つておきます。

「吾々は、昭和20年の終戦以来、日本の復興、重建のために40数年間、幾多の努力を重ね、世界の経済大国と云われ今までに仕上げた貢献者であり、国として本功労者として所遇すべき義務がある。」

然るに、停年退職を迎え、老後の余生を趣味と生きようとても、市も町会も誠に冷感反対振りであります。それで御学者扱いのような印象を受けます。

それでいて「ゆとりある老人生活」とか「老人に思いやりを」等と称えるのだから全くけしからん。穿くと興奮意味に迫る老人達もあれば、『吾々は、人生の大半を国家のために、社会のために奉仕して来たとの誇りと自負心を持っています。』

この年になって、徒方に自己主張し秩序を乱すような輩は排除ねばならない。

平和な時世を見つめながら静かに余生を送りたい』等と達感した老人達もいらっしゃる。

以上のようないい御意向は別の場合においても時々耳聴しておりますが、其の他色々と喜び事や苦情など話かけて下さる御老人も多く、それがお互いの信頼関係を築いて行くものと信じ、有難いこと存じております。

誠に申し上げにくい事を書いてしまいましたが、これをお耳に入れておいた方が良いので、休まいかと存じ、あえて申し上げる次第ですがからず御了承下さい。

### 4. 公共施設 259ヶ所

#### (1). 市の施設 37ヶ所

福祉センター(2)、市民センター(10)、市の事務所(9)、地区会館(16)

#### (2). 町会・団地の自治会館 222ヶ所

### 5. ボーカロイド上でのための啓発運動推進委員会について

平成2年1月葬礼連絡会において、ボーカロイド運動を推進するためには「業務運営指導委員会」を決定致しました。当時は、ボーカロイド言葉に異論を抱えた方々内・外共に多く、私も只得ず前記の名稱を採用した次第です。

本規定制定後、田井、北野の両地区の葬儀爱好者会より脱会通告を受けました。『葬儀を樂しくするために参加したのであって、制限を受けたり、煩しい事には関与しない』との理由でした。

脱得しても無駄と思ひ已むを得ないので"どうぞ"墓会はそのまゝ継続下さる」と申し上げ承認致しました。

其の後、前記両地区に葬儀爱好者会が再建されましたので、名稱を表題名に変更して、平成5年より活動開始と決定した次第です。

以上

別途添付文2号

夕刊 1992年(平成4年)4月25日(土曜日)

アーバン  
NOW

## 俳句や楽器も 同様の効果

開幕は脳の老化防止本當に効果があるのだろうか。老年病学が門で自身も老衰を打つ東京医学部の折茂豊教授は「残念ながら両者の関係はまだ医学的に証明されない」

# 右脳を刺激する

浜松医療センター(浜松市)  
「」と前書きしたうえで次の  
ように書く。「脳の老化を防  
ぐには常に脳の刺激を与える  
のがいい」とある。左脳の  
機能は六十歳以上のお年寄り三  
十人(同上)によると、頭  
の上の刺激多様で良質な  
もので「老化防止に効果と考  
えられる」。  
老人(姓はつづいて)百二十四人(医療機関の医師  
は「ラスムスン作用するよ  
う」と調査した。  
その結果、開幕を趣味にし

## 創造力使うほど良い

趣味別痴呆状況一覧  
(金子勝雄・浜松医療  
センター副院長調べ)

被秀群	早期痴呆者群
将棋	2人
マージャン	6
花道	1
茶道	3
盆栽	2
民謡	2
カラオケ	5
俳句	27
歌謡	6
書道	2
手芸	13
ヨガ	19
ボーカル	23
盆栽	23
盆栽	10
盆栽	14
盆栽	7
盆栽	26
盆栽	18
盆栽	23
盆栽	11
盆栽	19
盆栽	37
盆栽	25
盆栽	29
盆栽	44
盆栽	66
盆栽	65

ている人は痴呆群で二十人、  
いたのに対し、早期痴呆群  
ではわずかに一人だった。幸  
いことに、入院したたった一人  
は、痴呆の初期段階が出た。逆  
に痴呆は発現よりも早期段  
間に多く、旅行の旅  
種、駄菓子など、二者の数が  
さう坑していた。

「開幕はじめ楽器や  
俳句などの純創性が必要だ」と  
説いていた。日本医科大学の高橋也哉教授  
が昨年、プロ根が対局中に  
痴呆の方が足踏みから  
寝起きが止まらないのを見た。  
これは「痴呆が中枢の  
機能を障害しないのが  
面白い結果が出来た」と  
喜んで、それが右脳で  
強いためだ。高橋も「痴呆の方は、  
右脳で問題の方だから、  
脳のどの部分を使っている  
のか、調査した六人全員が右脳  
の方で強い反応が現れた」と  
述べ、それが根の問題が求められる  
一つに脳で書いておきます。  
まな部位があなたの開幕が左脳をよく使っている。そして  
あなたとあなたは右脳で問題で  
あります。高橋は、高齢になると  
ねじれがいい。右脳は想像力や  
創造力、集中力。左脳は計算力  
や記憶力、論語理解などを  
使う。左脳をよく使っている  
方が健忘症、あんまり  
集中力の自己評価や数字手元  
をつかさどる。開幕の場合、  
右脳をよく使う。左脳を刺激す  
る。開幕が脳の老化防止に効  
果があるのはここに、秘証  
が強い。右脳を刺激すること  
がありそうだ。

で集中力が高まり、何事に  
も意欲的に取組む姿勢が出て  
くる。それが老化防止やり  
てること。それが何よりも重要な  
わけだ。開幕ではないが音楽と右脳  
がつながったところが開  
幕クラシック七十五の中には、  
どの開幕を興味で実験例があ  
る。

(8)



日本経済新聞4月25日(土)掲載

#### （第三種簡便物語）

## 黒幕で老化防止



70歳で囲碁を始めた海野直子さんも今では三段（東京・港区の全日空ホテル囲碁サロンで）

頭がスッキリ  
集中力がつく

うまくなりたい」という一心で囲碁に打ち込んできた。開基教室に通つてプロ棋士の指導を受けるうちに面白くなり、瀬四日は碁盤に向かうようになつた。強い人の対局などで実力をつけ、現在は三段。「囲碁は芸術と同様、

「ああ、お前が少しずつ動いていくのが  
嬉しいんだ。」  
聞かれて、彼はうなづいた。  
聞かれる前は三段の根力だった。  
それが、退院直後は五糸継ぎで、  
いまは七糸継ぎになっていた。手を脱いでも打たず、其の目が九つも  
うと思いつても指が纏わなくなっていた。  
石が込まなくて、中盤戦でめ石がつながらず、中盤戦で見るのもいい」とアドバイ  
スする。

止

頭がはげないよつ、定年後に脳卒中に倒れ込むとする人が多い。が、長崎特有にする邊で挫折する例はないよど。そんな中比較的、高齢者を受け入れられるのが団体だ。団体は脳の老健防止や脳卒中ハビリなどに効果があると指摘する専門家が多い。間違は脳にどのような影響を及ぼすのか。そのスケームを探つてみた。

東京・改修会のカルチャースクールで開催された講師を務めた。事実、定年後に初めて脳卒中によると、教養の参加者は女性が五十歳以上、男性が六十歳以上の組合員が多いくらい。「開講は年を取つてね

東京・改修会のカルチャースクールで開催された講師を務めた。事実、定年後に初めて脳卒中によると、教養の参加者は女性が五十歳以上、男性が六十歳以上の組合員が多いくらい。「開講は年を取つてね

脳障害のリハビリにも

周囲から見ると、七十七歳弱めで、いつも新しい衣服が必要で、ないからやめた方がいい」と、知恵を抜いて打った後は、頭が非常にスッキリするんで

(84) も腰を上げた一人。王  
東京に住む海野直子さん  
が亡くなった後、「何か教由  
でできることをしたい」と、七  
十歳から囲碁を習い始めた。

(9)

別途添付オ3号

八王子の基を築いた老人連合(略称基老連)の経歴書

平成5年1月 日

八王子の基を築いた老人連合

会長 熊崎正一

〒193 八王子市初沢町1434-46

電話(0426) 66-3754

基老連は、八王子の寿園墓同好会により設立された連合体ですが、その経歴について次の通り御報告申し上げま方。

記  
1. 基老連が設立されたまでの経緯

## (1) 寿園墓同好会(有致者のみ)の開設(メモ)

開設日	同好会名	会長名	使用会場	所在地
63/9/3	城川寿園墓同好会	熊崎正一	城川市民センター	西尾町
元12/14	由井 "	阿川正治	由井 "	片倉町
元13/14	元八王子 "	牛尾良直	元八王子 "	上郷町
元13/15	至安 "	猿藤正太	至安 "	至安町
元14/123	大和田 "	小池隆政	大和田 "	大和田町
元19/16	北野 "	杉本俊三	北野 "	北野町
元19/23	由木 "	矢田部俊幸	由木 "	下柚木
元19/24	辰彦 "	城石尚志	辰彦 "	辰彦町

## (2) 基老連の創立

平成元年11月12日城川市民センターにおいて創立総会を開催し、会長に熊崎正一を選出された。

目的は、ボケ防止のために、老人用墓同好者の誰もが「基を築いた」といふ出来方より、機会と場所を確保するために相親切し、開墓を通じて親睦を図り、更には、より良き福祉社会の建設に貢献することを念願とする。

## 2. 基老連の現状

## (1) 規約 別途添付オ4号、基老連ニュースオ23号の規定特輯を御参照下さい。

## (2) 参加団体(平成5年1月現在、8団体)

同好会名	会長名	会員数	使用会場	基会日
城川寿園墓同好会	保屋野正清	40名	城川市民センター	毎日月曜日
元八王子 "	高橋英美	33	元八王子 "	" " "
中野 "	阪本勝	27	中野 "	" " "
大和田 "	八木義光	35	大和田 "	" " 2日
由井 "	奥山和英	23	由井 "	" " 3日
由木 "	吉成進	40	財團・出稼 "	" " 1日
北野 "	伴藤栄一	30	北野 "	" " "
辰彦 "	小西徹	28	神奈川県山梨務所	" " "
至安 "(解消) 運動準備会	田政治	18	田舎準備会	
計		274名		

## (3) 事業内容

## 1. 基老連ニュースの発行

平成2年2月創刊以来毎月発行し、平成5年1月第26号まで発行済。

## 2. 事業活動

本年度より「ボケ防止のための啓発運動推進委員会」を発足、「ボケ防止のために基を築いたましょ!! 運動を積極的に推進する。

(10)

#### 八、基老連研修会

不~~レ~~防止事業の一環として、1期6ヶ月間の研修会（有効者40名、級位者40名計80名の定員制）を平成3年10月より総合福祉センターにおいて開設し、現在第3期研修会を実施中。

#### 二、競技会関係

##### (1) 不~~レ~~行止りための啓発開幕大会（10歳以上7級格まで）

開催日	主 催	会 場	参加者数人
2月7日	城 川寿連同好会	総合福祉センター	120名
2月28日	元八王子	元八王子市民センター	60
3月14日	中 野	中 野	50
3月28日	大 和 田	大 和 田	80
4月11日	田 井	田 井	80
4月25日	中 木	中 木	60
5月9日	北 野	北 野	70
5月23日	辰 济	辰 济山車務所	60
7月4日	基 老 連	総合福祉センター	200
	計		780名

(2) 本年9月の第4回NTT基老連碁大会に対する協賛（競技運営を担当）

(3) 本年11月の第5回基老連碁大会（会員）

(4) 第4回基老連団体射箭戦

各団体同好会選抜（初段～6段までの6名）の8ゲームに於ける終当(11)→  
戦を2月21～2月25日までの7日間に優勝4チームを決定する。

#### 3. 基老連会長 熊崎靖一の身上書

(1) 生年月日: 大正元年12月22日

(2) 昭和56年4月12日八王子市初代町1434-46に転入（現在地同上）

(3) 昭和57年大橋町の福祉社会館用意部に入会し、現在顧問として在籍中。

以 上

—————< >—————

#### 陳情書提出に因る、町田先生の御指導を仰いだ経緯について

ボイド止のための啓発運動推進に御協力と陳情の件」を市長さんへ提出する件は同じ、御指導を仰ぐためにある1月27日に町田先生のお宅へ御伺い致しました。其の際、先生は本陳情書の趣旨については全面的に賛成だが、自治会組の件についても、市の御指導を其期待するとは無理なうに思われるが、別段の指置を構方かうに検討すべきであるとの御意向でした。

結論として、よりあへず次のよう答方附で処理することになりました。

(1) 本陳情書は、先生が代理として直接提出する。

先生の御意見では、ある1月12日に三浦 瑞氏の市民栄養賞の件で、熊崎吉良さんに御紹介しているので私が代理提出しても差支えないと思う。

(2) 陳情書提出の際、先生の添え書きを添付して頂く。

其の後、2月5日先生より御連絡があり、陳情書は1月29日に提出したが添え書きの必要性は反りと無い取扱いを2つにした。

然し、本陳情書に關連して、八王子市老人クラブ連合会上に対する要望書提出の場合は、市議会議員町田照良の意見書として「団體の普及を考え込み」をお渡しするから利用されてはどうかとの事でした。

今後共に、基老連の事業に因る積極的に協力するつもりでいるから、何でも申し込まれようとの御意向を頂きました。

以 上

(11)

地区別玉座決定(前期)

地区別	段	氏名	地区別	段	氏名
浅川	2	平辰雄	中井	4	高野進
元八王子	4	萬橋實	田木	2	細垣辰夫
中野	6	木島洋治	北野	3	龜谷一郎
大和田		都合玉座競争中止	辰彦	3	戸谷富美男

肉体対抗戦参加者(1回戦2月21日)

分類	段	氏名	分類	段	氏名	分類	段	氏名
浅川			大和田			北野		
6 6	城 大次郎	6 6	高田徳男	6 5	芝田実之			
5 5	長谷川 忠	5 5	龜谷泰治	5 4	山本金助			
4 4	藤田 実美	4 4	松田礼治	4 3	龜谷一郎			
3 3	大綱原 雅	3 3	安藤久雄	3 3	山本林			
2 2	平辰雄	2 2	愛杯院 正	2 2	西宮国盛			
初 初	中島義彦	初 初	山崎忠彦	初 初	櫻藤田 正			
元八王子			由井			辰彦		
6 6	小下則文	6 5	萬野進	6 6	小西徹			
5 5	近平和児	5 3	福田喬	5 5	佐藤要吉			
4 4	萬橋実	4 3	城義三	4 4	平山智之			
3 3	櫻原勝	3 3	長久保九一	3 3	青木助三			
2 2	西山泰二	2 初	室井博	2 2	秋山忠作			
初 初	菊地安吉	初 初	阿部博	初 初	古賀太郎			
中野			由木					
6 6	木島洋治	6 5	神保木二	6 6	小西徹			
5 5	佐藤道人	5 5	吉成進	5 5	佐藤要吉			
4 2	千代和未	4 3	越夏翠	4 4	平山智之			
3 2	石山徳義	3 2	戸塚大太郎	3 3	青木助三			
2 2	大木木茂	2 2	藤原史郎	2 2	秋山忠作			
初 初	畠 反知	初 初	安部寅夫	初 初	古賀太郎			

対戦チームは次の通り

元八王子:	浅川
大和田:	中野
由木:	北野
辰彦:	由井
注:	右側は主催チーム

ボケ防止のための旗番用基中野大会の御案内

開催日時 平成5年3月14日午前9時  
 会場 中野市民センター  
 主催 中野旗番用基同好会(会長:坂本勝, ふれいな2-33-6, 電91-4074)  
 参加総勢 開催日の1週間前(必着)2万円。

ボケ防止のための旗番用基大和田大会の御案内

開催日時 平成5年3月28日午前9時  
 会場 大和田市民センター  
 主催 大和田旗番用基同好会(会長:八木義光, 大和田町5-34-3-301, 電42-3093)  
 参加総勢 開催日の1週間前(必着)2万円。

(12)